

## 【別紙様式】

## 平成28年度 津山市立（広戸）小学校

## 改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

| 津山市<br>達成目標 | これまでの取組やたしかめテスト等から<br>【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語Aについては、ローマ字や文法に課題が残る。</li> <li>・算数Aについては、4・5年生での課題が大きい単元での正答率が低い。</li> <li>・国語B 算数Bについては、無回答の児童は少なく記述はできているが、正答できていない。</li> </ul> |   |  |
|-------------|--|---|---|--|
|             |  | 進捗状況  | 来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）  |  |
| 市全体の取組      | ○家庭学習や長期休業中を利用して、課題のある問題について「問題データベース」を活用し、定着を図る。          | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「問題データベース」を中心に課題に応じた問題に取り組む。</li> <li>○家庭学習や授業での振り返りなどで活用できているので、引き続き活用していく。</li> </ul>   |  |
| ①           | ○「めあて」「自分で考える時間」「伝え合い」「まとめ」「ふりかえり」、「リズムとテンポ」を意識した授業展開を考える。 | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○その時間に身につけさせたい力を明確に持った「めあて」を設定し、「考える時間」「まとめ」「ふりかえり」を意識した授業展開を考える。</li> <li>○単元ごとに身につける力が十分ついていないので、経年課題となっていることを取り入れた授業作りをする。</li> <li>○その単元で身に付けるべき力をはっきりさせ、系統を見通して積み上げを意識した授業を行う。</li> </ul> |  |
| ②           | ○問題データベースを活用し、朝学習で基礎、放課後学習で活用問題に取り組ませ、基礎基本と活用力を身につけさせる。    | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎の力はついてきつつあるが、年度初めから問題データベース等を活用し、引き続き課題の多い問題に取り組ませる。</li> <li>○朝学習や放課後学習の問題の解かせ方の交流や、学力テストや確かめテストの結果の検証を通して、本校児童の課題を共通理解する。</li> </ul>  |  |
| ③           | ○授業と家庭学習をリンクさせる。   | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業で確実に理解させ、家庭学習で定着を図る。</li> <li>○家庭との連携を密にするとともに、予習復習を意識した家庭学習に取り組ませる。</li> <li>○自主学習を含めた家庭学習の様子を交流しながら、さらに予習復習を意識できるようにする。</li> <li>○各学年の家庭学習を掲示することにより、児童への意欲付けを行う。</li> </ul>              |  |

※進捗状況・・「S：目標を大きく上回った（100%を超えてる）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」